MONEX Retail Investor Survey

MONEX 個人投資家サーベイ　2020 年 3 月調査

マネックス証券株式会社
www.monex.co.jp

個人投資家の皆様の相場環境等に対する意識調査のため、2020 年 3 月 9 日から 3 月 11 日までインターネットを通じて、マネックス証券に口座をお持ちのお客様向けにアンケートを実施しました。回答いただいた皆様のご協力に感謝いたします。誠にありがとうございました。

今回、定例調査である個人投資家の相場観の調査に加え、新型コロナウイルス影響下の投資行動、配当が投資に与える影響に関する質問等について特別調査を行いました。

（当社ウェブサイトへの掲載日は、2020 年 3 月 18 日です）

「MONEX 個人投資家サーベイ」は、個人投資家の相場環境に対する意識調査としてアンケートを行い、その調査結果をまとめたものです。2009 年 10 月に第 1 回サーベイを行い、2009 年 11 月から 2016 年 3 月までは月次で、2016 年 4 月から 2016 年 12 月までは隔月、2017 年 3 月以降は四半期毎に調査結果を公表しています。

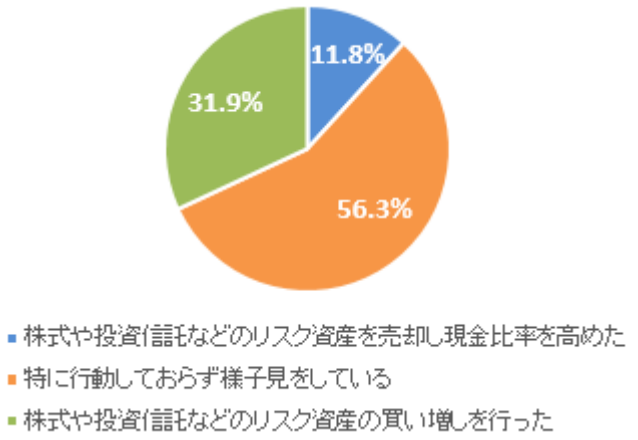
また、グループ会社であるトレードステーション証券（米国）、マネックスBOOM証券（香港）の個人投資家の皆様にも調査を行い、調査結果を「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」として公表しております。2011年6月から2016年3月までは四半期毎、2016年6月以降は半年毎、2018年12月以降は、1年毎に調査結果を公表しています。

■調査結果

1.【特別調査 1】コロナウィルスの影響下における投資センチメント

今月は特別調査 1 としてコロナウィルスの影響下における投資センチメントについて調査しました。

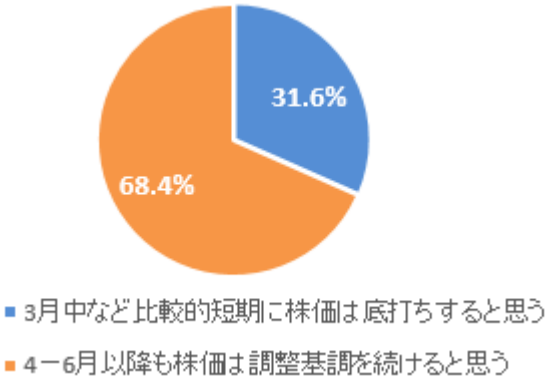
1-1. コロナウィルスの感染拡大による株価下落を受けてとった投資行動



（出所）マネックス証券作成

コロナウイルスの感染拡大に伴い世界的に株価が下落している中での投資行動について調査しました。「特に行動しておらず様子見している」と回答した投資家が 56.3%と過半数に達しました。次に多い回答は「株式や投資信託などのリスク資産を買い増した」で 31.9%となりました。世界的に株価は大きく下落しましたが、焦って行動せず様子見をしている方が多いようです。

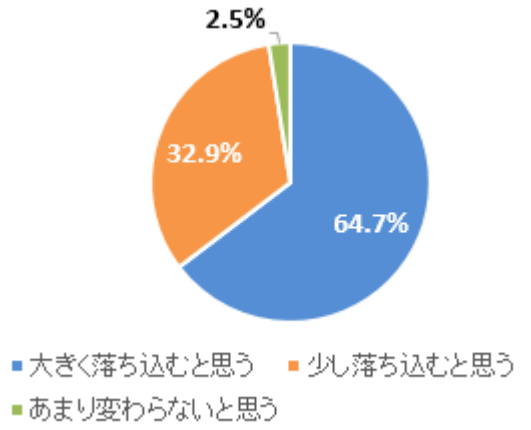
1-2. 今回の日本株の株価下落はどの程度の期間続くか



（出所）マネックス証券作成

足元で大きく下落した日本株の底打ちタイミングの予想について尋ねました。「3 月中など比較的短期に株価が底打ちすると思う」との回答は 3 割強にとどまり、「4－6 月以降も株価は調整基調を続ける」と思うとの回答が 7 割近くに達しました。今回の株価下落は短期的には収束しないのではと予想している個人投資家が多いことがわかりました。

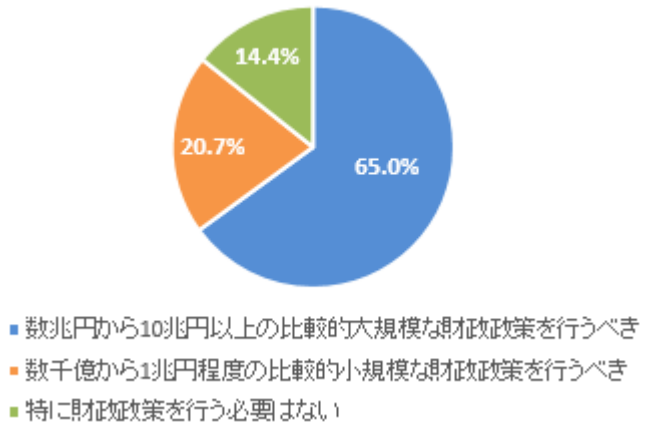
1-3. 日本の国内景気はどのように変化するか



（出所）マネックス証券作成

コロナウイルスの感染拡大により日本の国内景気がどのように変化すると思うか尋ねました。「大きく落ち込むと思う」との回答が 65%近くに達し、「少し落ち込むと思う」との回答と合わせると 97%以上の個人投資家が日本の景気が落ち込むと見通していることがわかりました。

1-4. 日本政府はどのような規模の財政政策を行うべきか



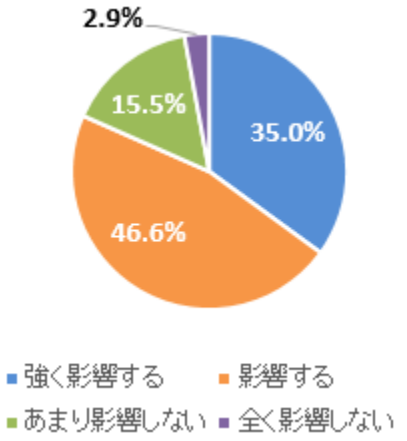
（出所）マネックス証券作成

国内景気が落ち込む可能性があるなかで日本政府がどのような規模の財政政策を行うべきと思うか尋ねました。65%と過半数の投資家が「数兆円から 10 兆円以上の比較的大規模な財政政策を行うべき」と回答しました。前項の回答と合わせ多くの方が大きな景気落ち込みを予想しそれに対し積極的な財政出動を行うべきと考えていることがわかりました。

2.【特別調査 2】配当が投資に与える影響について

特別調査の 2 つ目として、企業が出す配当が投資判断に与える影響について尋ねました。

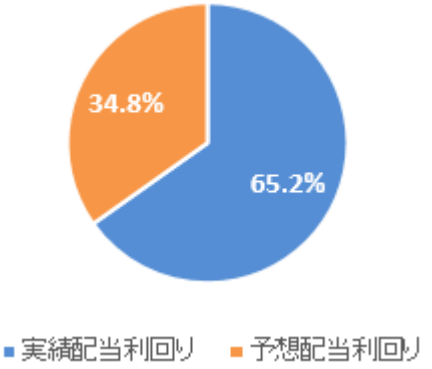
2-1. 配当の有無や配当利回りの高さは投資判断にどの程度影響するか



（出所）マネックス証券作成

配当の有無や配当利回りの高さが投資判断にどの程度影響するか尋ねました。35%の投資家が「強く影響する」、46.6%の投資家が「影響する」と回答し計 81.6%の大多数の投資家にとって配当は投資判断に一定の影響を与えるファクターであることがわかりました。

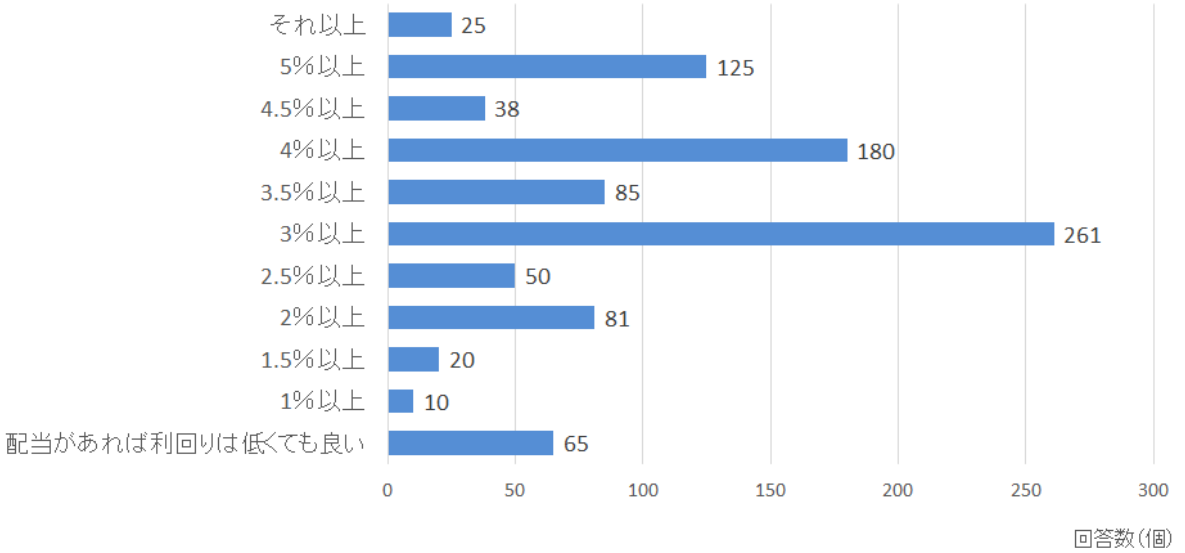
2-2. 実績配当利回りと予想配当利回り、投資判断の際にはどちらを重視するか



（出所）マネックス証券作成

配当利回りを投資に活用する際に企業が実際に出した配当実績に基づく「実績配当利回り」と、今期にどの程度の配当を出す予定かを発表した予想に基づく「予想配当利回り」のどちらを重視するか尋ねました。「実績配当利回り」を重視すると回答した投資家が 65.2%と多くの投資家は「実績配当利回り」を重視していることがわかりました。

2-3. 配当利回りが何%以上であると投資魅力を感じるか



(出所)マネックス証券作成

配当利回りが何%以上あると投資魅力を感じるか尋ねました。最も多かったのが 3%以上という回答で、続いて 4%・5%の順となりました。3%以上の回答を選んだ投資家の割合が 8 割近くに達しており、一定の配当利回りの高さを求める投資家が多いことがわかりました。

2-4. 配当利回りに魅力を感じている日本株の銘柄について

銘柄名（銘柄コード）	回答数	3月13日株価（円）	予想1株当たり配当（円）	予想配当利回り（%）
日本たばこ産業（2914）	14	1957.5	154	7.9
三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ（8306）	5	397.1	25	6.3
ソフトバンク（9434）	5	1,426	85	6.0
ＮＴＴドコモ（9437）	5	2873.5	120	4.2
ブリヂストン（5108）	4	3,117	160	5.1
みずほフィナンシャルグループ（8411）	4	112.5	7.5	6.7
武田薬品工業（4502）	3	3,105	180	5.8
日産自動車（7201）	3	382.7	10	2.6
本田技研工業（7267）	3	2,290	112	4.9
キヤノン（7751）	3	2131.5	未定	–
三菱商事（8058）	3	2246.5	132	5.9
三井住友フィナンシャルグループ（8316）	3	2,644	180	6.8
オリックス（8591）	3	1,379	76	5.5
ＮＴＴ（9432）	3	2,357	95	4.0
ヤマダ電機（9831）	3	419	未定	–

（出所）2020年3月13日時点のQUICKデータよりマネックス証券作成
予想配当利回りは今期の会社予想の1株当たり配当を3月13日時点の株価で割って算出

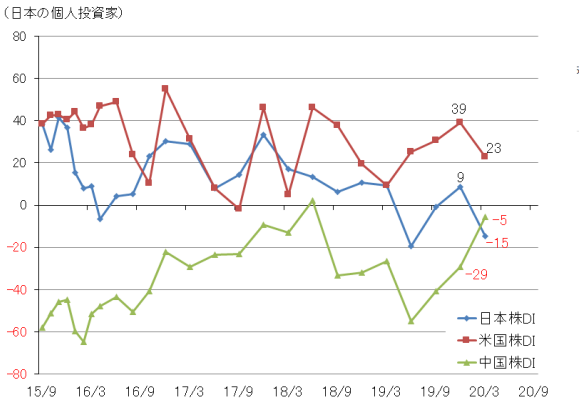
※回答数が 3 つ以上あった銘柄を記載しています。また、お一人で複数銘柄を回答した場合、それぞれの銘柄を 1 回答として扱っています。

配当利回りに魅力を感じている日本株の銘柄について尋ねました。最も回答数が多かったのが日本たばこ産業（2914）でした。足元の株価下落を受け同社の予想配当利回りは 7.9%と非常に高くなっているため魅力を感じている投資家が多いようです。その他は三菱 UFJ（8306）、ソフトバンク、NTT ドコモなど時価総額が大きく予想配当利回りが高い銘柄への回答が多くなりました。その他の回答としては、イオン（8267）や日本マクドナルドホールディングス（2702）など株主優待の人気も高い銘柄や予想分配金利回りが高い J-REIT を挙げる声もありました。

定例調査～個人投資家の相場観について～

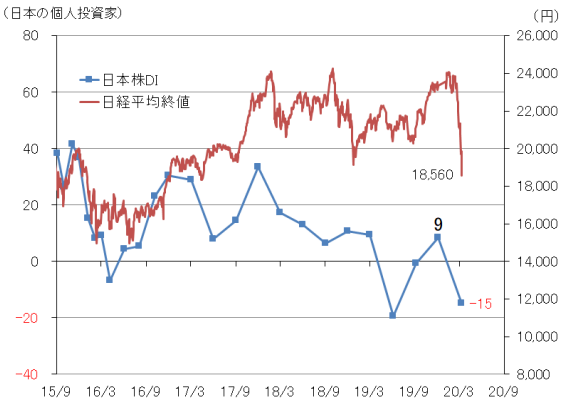
3. 日本、米国、中国の DI について

グラフ3-1：今後3ヶ月程度の株価予想



（出所）マネックス証券作成

グラフ3-2：日経平均株価（終値）と日本株DIの推移



（出所）マネックス証券作成

今後 3 ヶ月程度の各国（日本、米国、中国）の株式市場に対する個人投資家の見通しは、 前回調査より日本株 DI ※ が 23 ポイント下落、米国株 DI は 16 ポイント下落とそれぞれ大きく下落した一方で、中国株 DI は 24 ポイント上昇しました。コロナウイルスの感染拡大による株価の下落を受け日米の株価に対する見通しは大きく悲観に振れたようです。一方で比較的底堅い中国株に対しての見通しは改善しています。（グラフ 3-1）。

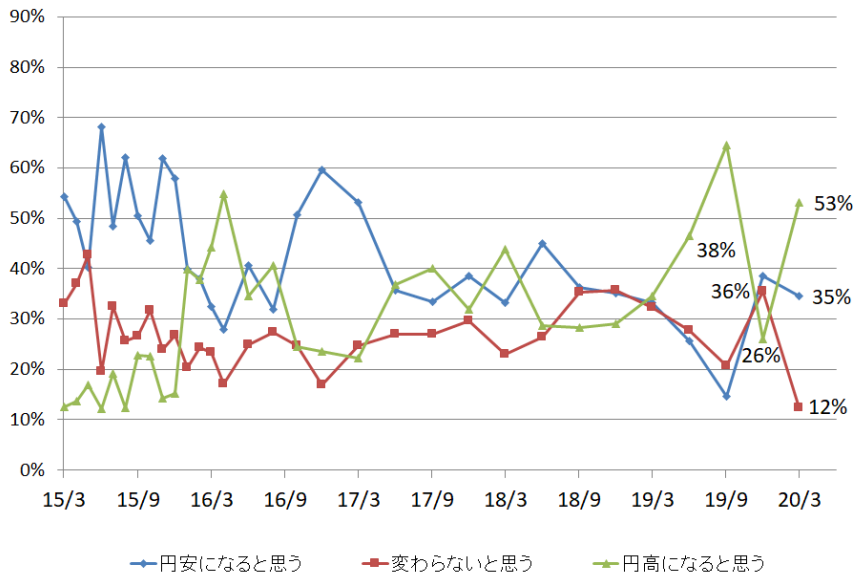
【日本株 DI】（2019 年 12 月） 9→（2020 年 3 月）-15（前回比-23 ポイント）
【米国株 DI】（2019 年 12 月） 39→（2020 年 3 月）23（前回比-16 ポイント）
【中国株 DI】（2019 年 12 月） -29→（2020 年 3 月）-5（前回比+24 ポイント）

※ DI：DI とは、相場が「上昇すると思う」と回答した割合（%）から「下落すると思う」と回答した割合（%）を引いたポイントです。DI がプラスとは、「上昇すると思う」と回答した割合が高く、DI がマイナスとは、下落すると思うと回答した割合が高いことを示します。

4. 為替市場について

グラフ4：今後3ヶ月程度の米ドル／円相場予想

（日本の個人投資家）



（出所）マネックス証券作成

今後 3 ヶ月程度の米ドル／円相場の見通しについて、「円安になると思う」と回答した個人投資家の割合は前回調査の 38%から 35%にわずかに減少しました。「変わらないと思う」と回答した割合は 36%から 12%と大きく減少しました。一方で「円高になると思う」と回答した割合は 26%から 53%に大きく増加しました。足元の急激な円高進行を受け円高を想定する投資家の割合が増加したようです。

【円安になると思う】（2019 年 12 月）38% →（2020 年 3 月）35%（前回比-3%）
【変わらないと思う】（2019 年 12 月）36% →（2020 年 3 月）12%（前回比-24%）
【円高になると思う】（2019 年 12 月）26% →（2020 年 3 月）53%（前回比+27%）

■総　括 （マネックス証券 マーケット・アナリスト 益嶋裕）

今月は「コロナウイルスの感染拡大による株価下落」と「配当が投資に与える影響」をテーマに 2 つの特別調査を行いました。3 月 13 日時点で日経平均株価は 17,431 円、NY ダウ平均は 23,182 ドルまで下落しました。NY ダウ平均は 2 月 12 日時点で 29,551 ドルと 30,000 ドル直前まで上昇していましたから、短期間で異例の株価下落となっています。

今回の調査で株価底打ちのタイミングを 4 月以降と考えている方が多数となるなど、調整が一定期間長引くと予想されている方が多いようです。たしかに世界的にコロナウイルスの感染が収束していく道筋は見えておらず、今後もマーケットの混乱は続いていく可能性があります。

ご不安になられている方も多いと存じますが、少しでも皆様の不安解消のお役に立てるようチーフ・ストラテジストの広木を始めとして社一丸となり情報発信に取り組んで参りますのでご参考いただければ幸いです。

また、2 つ目の特別調査により多くの個人投資家が「配当」を重要視していることがわかりました。足元の株価下落を受け予想配当利回りが上昇している銘柄が多数ありますし、今後の情報発信を行う上で非常に貴重な情報を得ることができました。

今月も皆様のおかげで大変有意義な調査を行うことができました。ご協力本当にありがとうございました。

2020 年 3 月 16 日執筆

■調査の概要と回答者の属性

調査方式：　インターネット調査
調査対象：　マネックス証券に口座を保有している個人投資家
回答数：　968
調査期間：　2020 年 3 月 9 日～3 月 11 日

【性別】

男性	女性	回答しない
81.7%	15.7%	2.6%

【年齢】

未成年	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳超	回答しない
0%	2.1%	12.2%	26.8%	28.5%	19.2%	9.1%	2.2%

【金融資産】

500 万円未満	500 万円～1000 万円	1000 万～2000 万円	2000 万～5000 万円	5000 万～1 億円	1 億円以上
23.6%	19.7%	16.7%	25.4%	9.6%	5.0%

【売買頻度】

デイトレ	週に数回	月に数回	数ヶ月に 1 回	それより少ない
5.4%	13.3%	32.9%	27.8%	20.7%

【株式投資のご経験】

1 年未満	1 年～5 年	5 年～10 年	10 年以上
5.0%	27.0%	18.6%	49.5%

本情報は当社が実施したアンケートに基づいて作成したものです。

- 本情報は売買のタイミング等を反映したものではなく、また示唆するものではありません。
- 当社は記載した銘柄の取引を推奨し、勧誘するものではありません。
- 当社は本情報の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではございません。
- 銘柄選択や売買タイミングなどの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようにお願いいたします。
- グラフの数値は、小数点以下の計算により合計が必ずしも 100.0%とならない場合があります。

マネックス証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 165 号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会